

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス チャオII		令和 7年 3月 3日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	活動や余暇時間などで伸び伸び過ごせるよう日々工夫をしている。	最低限のスペースは確保しているが活動や余暇時間などで狭さを感じることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	職員間で平日頃より情報共有をし業務に従事している。	適切な配置数ではあるがこどもの体調や状況等に合わせ寄り添った支援や配慮を考えると人手不足を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	こどもへの声かけ等で周知し環境設定を行っている。バリアフリー化に対し利用があった場合は環境を整備していく。	適切に思わない点もあるが施設の構造上立て直しが難しい点がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	日々こども達が気持ちよく過ごせるよう職員間で話し合う機会を設けている。	さらに工夫、改善できる部分はあるため検討していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別で学習できるスペースや安心して過ごせる場所はある。	必要に応じて有効活用をしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	各々で振り返ったり、その気持ちを共有したりしている。	個人、チームで目標を定め日々の支援にあたっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者の意見を参考にできる限り改善、改良している。	保護者の意見は職員で共有しあい、反省したり改善につなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	平日頃より話し合う機会を設けている。	職員間で平日頃より情報共有をし業務に従事している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に外部から評価・指導・助言等を受け、職員間で共有している。	巡回指導、保護者や関係機関の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞き業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修内容に合わせて職員間で話し合い、外部・内部研修を受講している。	引き続き研修の機会を設け職員の資質向上に努めていく。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	今年度よりホームページにて掲載し公表をする。	前年度までは配布にて公表していたため、保護者が周知できるよう案内していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者と面談した上で聞きとりを行い、こどもと保護者のニーズ等に合わせた計画を作成している。	引き続き包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	平日頃より職員間での話し合う機会を設け共通理解を図っている。	職員間での共通理解の拡充を図るために、今後もチームミーティングや全体会議を重ねていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間でこどもについて情報を共有して計画に沿った支援を行っている。	引き続き、計画に沿った支援に努めていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	標準化したアセスメントを使用して特性把握に努めている。	事業所内でアセスメントを行うとともに、保護者より提出していただいた外部機関で実施された検査結果や他デイの支援計画でも発達状況の確認をしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の項目を設けて具体的な支援内容を設定している。	引き続き具体的な支援内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	個別支援計画をもとにこどもに合わせた活動プログラムの立案を複数人で行っている。	プログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認する場を設け、より多くの職員が参画できるよう工夫していく。

は 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	職員間で活動内容について日頃より話し合いをしている。またこどもの体調や特性に考慮した内容で活動を実施している。	引き続き、一人ひとりの発達段階や目標に応じたプログラムの立案に努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	こどもの特性に応じて集団活動の中に個々の発達や目標に合わせた取り組みを適宜取り入れながら支援を行っている。	引き続き保護者面談を行いニーズの把握や利用者の発達状況の共通理解を図りながら、支援計画の作成と支援に努めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼時には欠席者や送迎等の確認をし、支援開始前にはその日の支援の内容についてチームで再確認・把握に努め支援を行っている。	支援内容や気になることの共有、また、個別対応等の役割分担について確認をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後には打ち合わせを必ず行っている。振り返り、気付いた点等職員間で情報を共有している。	活動時間の様子以外にも、こどもと何気なく交わした会話内容や遊びの様子などで気付いた点を共有し話し合っていくことで次の支援の参考にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録をとり支援の検証・改善につなげている。また保護者へ連絡帳を通じこどもの様子を伝えている。	今後も検証や改善をしながらより質の高い支援を行うことができるように努めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の有効性を検証している。	概ね6ヶ月に1度見直しを行っているが、今後もこどもの発達状況や支援の優先度などを踏まえながら必要に応じて計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0	自立支援と日常生活の充実のための活動、余暇活動が主となっている。	地域交流をどのように取り入れていくか検討している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	創作活動や運動等で選択肢を複数準備する工夫をしている。また集団活動の内容についてこども同士で話し合う機会を設けている。	個々の発達段階や興味に応じた設定、支援を行っていくことができるよう支援計画を柔軟に調整していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	現場の人員配置状況により厳しい場合は参加できないことがある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	こどもの主治医、担任、保護者、相談員等関係機関と相互に連携している。	必要に応じて関係機関と連携をとり、支援者会議への参加や外部機関への相談を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	複数の学校と情報共有を行っているが、下校時刻や行事の確認などを断る学校も多くありその都度保護者へ確認している。送迎の遅れがある際は速やかに学校へ連絡し、下校時の待機をお願いしている。	下校時刻の変更等は個人情報保護の観点もあり、学校側からの情報提供が難しい場合もあることを考慮し基本的には保護者から連絡をいただくことを繰り返しお願いしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	必要に応じて関係機関と担当者会議や電話で情報共有を行っている。	保護者に確認をとり情報共有をして支援の参考にしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	障害福祉サービス事業所等を利用する前に必要に応じて支援内容の情報を提供している。	必要に応じて情報提供をしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	年に数回助言を受ける機会を設けている。	今後も外部の意見や助言をいただきながら、より質の高い支援を行えるよう努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	直接的な交流はほぼないが、事業所周辺の公園で遊んだり図書館や公共施設へ出向いたりして交流を意識してもらう工夫をしている。	放課後児童クラブや児童館などと交流が図れるよう検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	参加している。内容については参加した職員より伝達を受けている。	今後も参加し、地域連携や具体的支援や地域連携の取り組み等の学びを深めていく。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	活動内容を日々の連絡帳で報告し必要に応じて面談や連絡をとっている。またLINEでのやり取り希望の声をいただき今年度より開始活用している。	送迎時や電話、その他ツールを用いながら日頃から相談しやすい体制を整えていく。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	保護者から相談を受けた際は面談等で声かけや関わり方について伝えるなどの支援を行っている。	ペアレントトレーニングは行っていないが、ご家族が参加できる研修等の情報提供は行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学や契約時・面談時に必ず説明している。また、相談を受けた際は適宜対応している。	適宜対応していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談時にご家族の意向を伺っている。	引き続き機会を設けていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	個別支援計画が更新されるごとに支援内容の説明を行い同意を得ている。	引き続き同意を得ていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時や連絡帳、電話、LINE等にて常日頃より対応している。必要に応じて面談も行っている。	半年に1回程度の面談の他に、適宜、面談日を設けている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者会を開催し保護者同士が話せる機会を設けている。	きょうだい同士で交流する機会を設けることが難しいため、今後は保護者や対象のこどもの意見を聞きながら検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合には迅速に担当者及び児童発達支援管理責任者にて対応している。	今後も必要に応じて管理者、責任者と協議し、速やかに対応していく。情報等は職員間で共有する機会を設け再発防止に努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	HPやLINE等を活用し、活動内容・連絡体制等の情報発信をしている。利用予定表は毎月発行し配布している。	来年度も引き続き、より良い活用方法を検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	十分留意している。	個人情報に記載されている書類は事業所にて保管している。また、数年前よりチャオだよりに個人名の記載を終了している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	それぞれのこどもの意思表示の仕方を職員が理解し、文字に書いたり行動から読み取ったりしながら相互の伝達方法に配慮している。保護者への事務連絡等は、電話・LINEで行っている。電話にて対応した場合にも伝達事項が残るようにLINE等で確認し伝えている。	その都度工夫、改善をしながら配慮していくことができるよう努めていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	見学は随時可能であるが、事業所における行事を行っていない。	地域交流再開に向けて地域連携を深めるために関係構築や協力体制を整えていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	チャオだよりに訓練の日程や感染症の流行時に警鐘文を掲載している。	マニュアルを作成している。職員にマニュアルを周知し訓練を行なっているが、保護者への周知まで至っていないため、今後周知出来るよう検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練を行っている。火災や地震発生などその都度変更し行っている。	安全性が担保された上で利用児と一緒に外部へ避難する訓練実施を課題としているため、今後改善しながら取り入れていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬、予防接種、てんかん発作等の情報を保護者へ聞きとり確認している。発作が起きた際の対応についても職員全体で定期的に確認し把握している。	事業所内に看護師の配置がないため薬の預かりや投薬管理はできないことを保護者に了承を得ている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	常日頃より職員間で確実に対応出来るよう朝礼時等で確認している。	今後もおやつ提供時やクッキングを行う際には必ず確認をしていく。また、対象のこどもがいる際は、アレルギーの原因となり得る教材（小麦粉粘土や牛乳パック等）の使用法についても保護者と確認していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、職員へ研修を実施。園外活動では別紙で活動計画を立て安全に配慮して支援を行っている。	安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っていく。

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画に基づき、必要に応じて感染症や感染予防対策、怪我等の注意喚起をチャオだよりにて伝えている。	安全計画を作成しているが、家族等へ周知はしていない。今後周知出来るよう検討していく。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットマップを作成して、職員間で共有している。	危険な事例があった際は、速やかに全体会議行い反省点や対策を協議している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	毎年必ず外部研修等に参加し、その都度職員に伝達している。	意思表示支援等による権利擁護にも意識し、日頃から支援の振り返りを行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	マニュアルを作成し契約時に保護者へ説明し同意を得ている。	道路への飛び出しや自傷他害等の危険行為の際は制止を図り、しっかりと身体を押さえることで安全を確保していく。また保護者に状況や様子を報告し、改善策や適切な支援方法を相談していく。